

# 直前演習で共通テストに向けた総仕上げを！

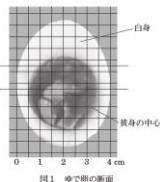
振り返り&  
ピックアップ

## 大学入学共通テスト模試3年9月で扱われた 共通テストで問われる力・差がつく問題

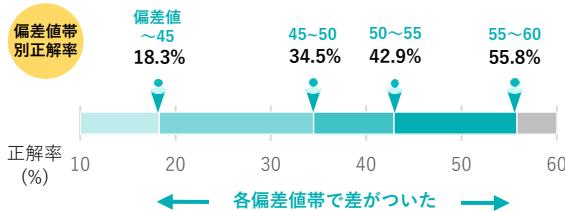
大学入学共通テスト模試3年9月は、共通テストを見据えた出題形式・難易度で、本番に向けた意識づけを行うとともに、現時点の学力を測定します。正解率の低かった問題や差がついた問題の、理解・思考のポイントを確認し、「直前演習」での問題演習をとおして、共通テストに向けた解答力を養っていきましょう。

### 地学基礎 | 第1問 A 問2：正解率39.9%

問2 地球の内部構造をゆで卵にたとえると、マントルが白身、核が黄身に対応する。高校生のRさんは、実際にゆで卵をつくり、縱方向にナイフを入れて断面を見るにした。次の図1は、その断面の写真に5mm間隔の格子を描いたものである。図1中のc-dの線を沿って見たとき、それぞれ白身と黄身の厚さの比率が異なっている。c-dのうち、実際の断面のマントルの厚さと核の半径の比率により近いのはどちらか。また、地殻を半径2cmの球によって模式的に表したとき、平均的な海洋地殻を表す層の厚さは、卵殻の厚さ0.3mmとくらべて薄いか、厚いか。その組合せとして最も適当なものを、後の①～④のうちから一つ選べ。□2



層の厚さの比率が近い位置	卵殻に対する海洋地殻の厚さ
① c	薄い
② c	厚い
③ d	薄い
④ d	厚い



### 問題中の情報と知識を用いて考察する問題

層の厚さや半径に関する知識と、問題で示された数値を用いて計算する問題でした。基本的な事項や数値は覚えていいることが前提で問われることもあるため、教科書の内容をしっかり定着させておくことが大切です。

#### 直前演習で復習できます

- 第3回第1問A問1：地球内部の層構造、核の主成分などについて考える問題

### 地学基礎 | 第1問 B 問5：正解率20.9%

問5 次の図2は、ある海洋域の海嶺とトランプフォーム断層の位置を模式的に表したものである。図2中の●A～Cは、それぞれの位置における海底を示す。△は、ホットスポットの位置を示すとともに、そこで形成された火山を表している。△は、以前にホットスポットで形成された火山が海山へと変化したものである。すべてのプレートの動きは等しく一定であり、ホットスポットは不動であるとすると、●A～Cの海底地殻と海山の形成年代を古い方から順に並べたときに、2番目、3番目になるものはそれぞれ何か。最も適当なものを、後の①～④のうちからそれぞれ一つずつ選べ。

2番目 [ ] 3番目 [ ]

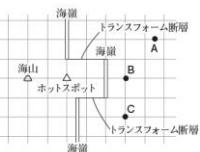
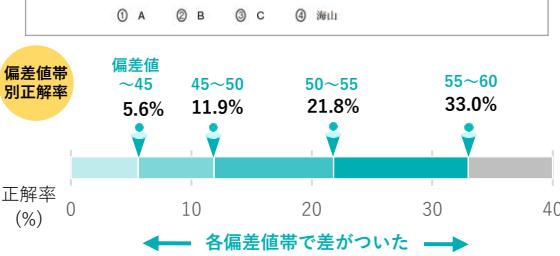


図2 ある海洋域の海嶺・トランプフォーム断層・ホットスポット  
(格子の間隔はすべて同じである)



### 図を用いて基本的な理解を問う問題

プレートが移動する向きや海山に関する理解をもとに、複数の地点の海洋地殻と海山の形成年代を考える問題でした。用語の定義だけでなく、図で正しくイメージできるかも確認しておきましょう。

#### 直前演習で復習できます

- 第9回第1問A問1：ホットスポットと海山列からプレートの移動を考察する問題



### 2026共通テスト対策【実力完成】直前演習 地学基礎

販売価格 960円（税込）  
販売形態 問題冊子×解答冊子  
冊子判型 B5判（問題・解答解説）

#### ダウンロード

- 問題・解答解説PDF
- 手書き解答例PDF
- 活用ガイドPDF
- 地学 力試し問題PDF
- マーク集計Plus

#### 自動集計ツール対応

- Google Forms
- Microsoft Forms



※GoogleおよびGoogle FormsはGoogle LLCの商標または登録商標です。

「進研学参」は株式会社ベネッセホールディングスの登録商標です。

ご注文、お問い合わせは、下記の窓口までお願いいたします。

ベネッセコーポレーションの『学参・手帳サイト』

<https://gt.benesse.co.jp/>

※お問い合わせにつきましては、ヘッダーメニューの「よくある質問」より、FAQの下にある「ご質問・ご相談」をご確認ください。

株式会社ベネッセコーポレーション

〒700-8686 岡山市北区南方3-7-17